

記者発表資料

地下駅周辺シェアサイクルポートをご案内

～ シェアサイクルの利用促進のため、実証実験を実施します ～

平成30年6月8日に閣議決定された「自転車活用推進計画」では、シェアサイクルの普及を促進するために、鉄道駅等の周辺においてサイクルポートの設置を推進するとともに、関係機関に対してサイクルポートの案内サイン設置について検討することが措置の一つとして定められています。

これを受け、関東地方整備局では、東京都区部において、シェアサイクルのポート誘導・案内サインの設置、実証実験を行います。

記

【実証実験概要】

1. 実験期間

- ・平成31年3月8日(金)～平成31年3月11日(月)
- ・各日11時間程度

2. 実施場所

- ・東京都港区元赤坂1丁目 国道246号の赤坂見附地下歩道内

3. 実施者

- ・調査実施者 関東地方整備局 道路部 道路計画第二課
- ・協力自治体 東京都 千代田区 港区
- ・協力会社 株式会社ドコモ・バイクシェア
株式会社ヴァル研究所

4. 検証項目

- ・ポートへの誘導・案内サインによる効果(利用促進等)の把握。
- ・貸出時に自転車がないポートから自転車があるポートへの移動について、情報提供による行動変容について把握。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、八王子記者クラブ

◇ ◇ 問い合わせ先 ◇ ◇

国土交通省 関東地方整備局 TEL 048-601-3151(代) 048-600-1342(夜間直通)
道路部 道路計画第二課 課長 五十嵐 一夫(いがらし かずお) 内線4251
課長補佐 高橋 哲(たかはし さとし) 内線4253

シェアサイクルのポート誘導・案内サインの設置に関する実証実験 概要

○地下鉄駅に直結する通路に、シェアサイクルポートを誘導するサインと、リアルタイムの残台数情報を表示するデジタルサイネージを設置する。

実験概要

○実施期間：平成31年(2019年)3月8日(金)～11日(月)

○実施箇所：

東京都港区元赤坂

赤坂見附地下道内(東京メトロ赤坂見附駅直結)

○実施内容：

- ①シェアサイクルポートへの誘導サインの設置
- ②周辺シェアサイクルポートの自転車配置情報(台数等)の提供

○実施主体：

国土交通省関東地方整備局

○主な検証項目：

- ・シェアサイクルの利用促進効果
- ・公共交通端末としてのシェアサイクルの利用促進
- ・シェアサイクルポートの情報提供による利用の平準化



シェアサイクルのポート誘導・案内サインの設置に関する実証実験 概要

①シェアサイクルポートへの誘導サインの設置

- シェアサイクルポートの場所については、現在はシェアサイクル事業者が作成するパンフレットや、シェアサイクルのアプリに頼らざるを得ず、経路や場所がわかりにくい等の問題があります。
- そこで、地下鉄駅に直結する地下道内の出口誘導に「シェアサイクルポートの位置」を示すサインを設置します。

②周辺シェアサイクルポートの自転車配置情報（台数等）の提供

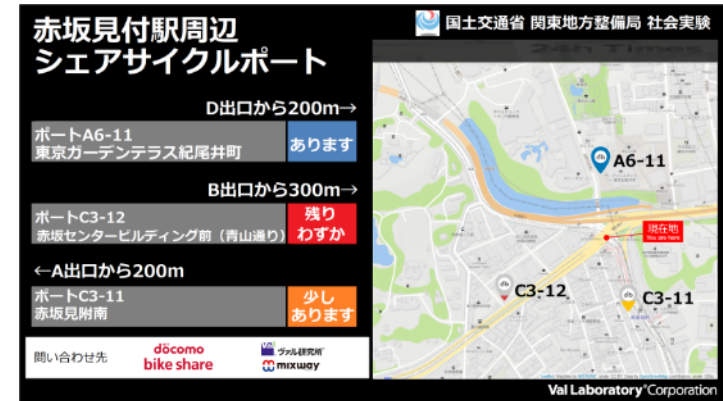
- バスロケーションシステムのように現在の自転車配置状況をリアルタイムで表示するサイネージ機器を設置します。
- 残台数の多いポートに誘導することを企図しています。
- 自転車の残台数に特化したサイネージによる情報提供は国内で初めてです。



誘導サインの設置イメージ



誘導サイン 表示デザイン



デジタルサイネージの画面イメージ

検証項目

- ポートへの誘導・案内サインによる効果（利用促進等）の把握。
- 自転車の貸出時に自転車がないポートから自転車があるポートへの移動誘発効果について、満空情報を併せて提供することでの効果を把握。

期待する効果

- シェアサイクルの利用促進、公共交通のラストワンマイルとしての利用の増加。（利用意向の拡大）
- 自転車の残台数の多いポートへの変化等の行動変容の発現。